

エンゼル幼稚園のアセスメントポリシー(評価方針)

Mission

「子ども達のチャレンジ精神や思いやりの気持ち、
他の人との協力性を育みます。」

Vision

「生き物を思いやり、知識ある真の国際人
を生涯に渡って育てられるコミュニティー
を創って行きます。」

ポリシーの根拠

私たちのミッションとビジョンを達成するには、園児の成長を評価し追跡するアセスメント(評価)が必要です。アセスメントを通じて、私たち関係者(保護者と先生)はコミュニティとして、園児のニーズを満たすために私たちの考え方を合致させることができます。アセスメントは先生、保護者、運営そして園児間のコミュニケーションを成功させるために不可欠な物です。アセスメントポリシー(評価方針)はエンゼル幼稚園の教員によって作られました。私たちは常に園児の発展を評価します。

先行知識について

ユニットの始めには、園児がすでに知っている知識を活性化することが重要です。この情報から先生はユニットのコースをどのように進めていくか考えることができます。また、これらの情報は、園児の成長を最大限に支援する方法を識別するためにも使用されます。

私たちがどのように評価するか

ユニットの実施期間、私たちは、平等的で客観的に園児の成長を測るための評価をします。この評価は、ユニットが進んでいる間に園児の理解を見ることができるように行われます。これは最終的な評価ではありませんが、園児のニーズに合わせて調整する方法を先生に示します。ユニットが進むにつれて、評価のフィードバックにより、園児はこれまでに学んだ知識を振り返ることができます。ユニット全体を継続的に評価し、理解の証拠として使用します。それだけでなく、園児たちが活動外やお家などでも応用しているかを評価することで、学んだことを理解しているかどうか分かります。活動や遊びを観察することで、自然な探求ができる環境で評価することができます。評価のツールの例は観察、写真、動画、ワークシート、振り返り、相互評価などです。

ランゲージポリシーでは、言語には多くの形式があると述べられています。園児達に彼らの理解を示す機会を与えるために、さまざまな方法で評価を実施するよう努めています。これは、包括的な環境を作るために重要です。

評価の伝え方

様々な園児のニーズに対応するために、ポートフォリオシステムが使用されています。ポートフォリオの様々な評価の形は図面、図表、写真、ビデオ、観察などが含まれます。ポートフォリオは、各ユニットが発展するにつれ振り返りの為にも使用されます。園児たちは自らの学びについて振り返ることができ、関係者（保護者と先生）も同様に振り返ることができます。ポートフォリオを使うことによって、国際的な視野を持つ人間になろうと努力している子ども全体の成長を見ることができます。

ユニット終了後にポートフォリオを持って帰ってもらうことで、子どもがリフレクティブになって親と振り返ることができます。保護者も自分のリフレクションを書くことによって評価の伝え方が一方的でなく、全員で子どもの成長や次のステップを考えることができます。

常に子どもの幼稚園での生活と様子が把握できるよう、SeeSawを使ってオンラインポートフォリオアプリケーションを使用しています。ここでは、写真や動画を中心に載せています。SeeSawは先生と保護者だけではなく、子どもも利用し活用することができます。ユニットの探求のために、SeeSawでアクティビティを作り、ご家庭でもインクワイヤーとして探求ができるようにしています。家庭ともコラボレーションする中で、全員で子どもの探求心を育てています。

これがエンゼル幼稚園のアセスメントポリシーです。